Miyazaki International College

Course Syllabus

|  |  |
| --- | --- |
| Course Title ( Credits ) | EDU306：教育課程論Structure of the Educational Curriculum (2 credits) |
| Course Designation for TC | 教員の免許状取得のための必修科目  【科目】  教育の基礎的理解に関する科目  【各科目に含める必要事項】  教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） |
| Content Teacher | |
| Instructor | 遠藤　宏美（単独） |
| E-mail address | hendo@edu.miyazaki-mic.ac.jp |
| Office/Ext |  |
| Office hours | 質問はメールで受け付けます。 |
| Language Teacher | |
| Instructor |  |
| E-mail address |  |
| Office/Ext |  |
| Office hours |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Course Description: | | |
| 【全体目標】  学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。  「教育課程」とは、単なる「教育の計画」としてだけではなく、さまざまな教育問題を抱える今日において大きな影響力を持ちうる複雑で広い営みである。この科目では、主に以下の３点についての授業を行う。通常、授業時間を前半・後半に分け、(1)または(3)の講義と、テキストを用いた(2)の講義をセットで行う。  (1)教育課程の意義・役割と、教育課程の編成の方法に関する基本的な知識  (2)日本の学校教育カリキュラムの変遷と、それぞれの時代の社会背景  (3)教育課程にまつわる今日的な課題（カリキュラム・マネジメントを含む）について  アクティブラーニングとして、振り返り、レポート等を取り入れる。 | | |
| Course Objectives: | | |
| 【一般目標】  (1)教育課程の意義  学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。  (2)教育課程の編成の方法  教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。  (3)カリキュラム・マネジメント  教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。【到達目標】  (1)教育課程の意義  1)学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。  2)学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。  3)教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解している。  (2)教育課程の編成の方法  1)教育課程編成の基本原理を理解している。  2)教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示することができる。  3)単元・学期・学年をまたいだ長期的な視野から、また幼児、児童及び生徒や学校・地域の実態を踏まえて教育課程や指導計画を検討することの重要性を理解している。  (3)カリキュラム・マネジメント  1)学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解している。  2)カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。 | | |
| Course Schedule | | |
| Day | Topic | Content/Activities |
| 1 | オリエンテーション | 教育課程・カリキュラム・学習指導要領とは何か。（目標(1)-1),3)） |
| 2 | 教育課程編成の基本原理（１） | 教育課程の基本的な考え方（目標(2)-1)）／近代的人間像を目指したカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 3 | 教育課程編成の基本原理（２） | 教育課程の思想、類型、構造（目標(2)-1),2)）／明治初期のカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 4 | 教育課程編成の方法とカリキュラム・マネジメント（１） | 時間のマネジメント（目標(2)-1),3),(3)-1)）／教育勅語のカリキュラムへの影響（目標(1)-2)） |
| 5 | 教育課程編成の方法とカリキュラム・マネジメント（２） | 教職員のマネジメント（目標(2)-1),3),(3)-1)）／産業革命とカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 6 | 教育課程編成の方法（３） | 学習集団のマネジメント（目標(2)-1),3)）／国民学校時代のカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 7 | 教育課程編成の方法（４） | 教材の選択と使用（目標(1)-1),(2)-3)）／戦後民主主義を支えたカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 8 | 教育課程編成の方法（５） | 教育課程の縦のつながり・横のつながり（目標(2)-2),3)）／経済復興に寄与したカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 9 | カリキュラム評価（１） | カリキュラム評価の種類と歴史（目標(3)-2)）／高度経済成長期のカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 10 | カリキュラム評価（２） | 新しい評価（目標(3)-2)）／成熟社会へ向かうカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 11 | カリキュラム評価（３） | 評価の活用とカリキュラム・マネジメント（目標(3)-2)）／生涯学習時代のカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 12 | 教育課程の社会的役割（１） | 隠れたカリキュラム（目標(1)-3)）／「生きる力」と情報化社会のカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 13 | 教育課程の社会的役割（２） | 家庭とカリキュラム（目標(1)-3)）／知識基盤社会のカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 14 | 教育課程の社会的役割（３） | 地域とカリキュラム（目標(1)-3)）／新しい時代へ向かうカリキュラム（目標(1)-2)） |
| 15 | 総まとめと質疑応答 | 学校教育全体を見据えたカリキュラム・マネジメントの在り方、まとめ（目標(1)-1),3),(2)-1),(3)-1)） |
|  | 期末試験 |  |
|  | | |
| Required Materials: | | |
| テキスト：『中学校学習指導要領（最新版）』、『中学校学習指導要領（最新版）解説』  『高等学校学習指導要領（最新版）』、『高等学校学習指導要領（最新版）解説』  参考書：水原克敏・高田文子・遠藤宏美・八木美保子『学習指導要領は国民形成の設計書（新訂版）』 東北大学出版会　2018年  その他、授業中に参考文献や資料を紹介する。 | | |
| Course Policies (Attendance, etc.) | | |
| 教職を目指す学生として教員の崇高な使命をよく理解するよう努めることが肝要である 。 授業は欠席や遅刻をすることなく 積極的に参加するように心がけること。 特に、 時間に凡帳面であることと、 日常生活の態度 （ あいさつ、 身なり 、 言葉遣い等） には気をつけること。 教員採用試験に向けて教職教養の勉強をしっかり して力をつけること。 | | |
| Class Preparation and Review | | |
| Students are expected to spend at least one hour reviewing and doing homework and one hour preparing for every hour of lesson time.  事前・事後学習として週４時間以上行うこと。  事前学習：初回オリエンテーションで指示した、テキストの関連する箇所を読みこむとともに、不明な点についてはあらかじめ調べておくこと。  事後学習：講義の内容を確認し、定着を図るとともに、毎回復習課題を提示するので、それに取り組むこと。 | | |
| Grades and Grading Standards | | |
| 定期試験70％、授業後のリアクションペーパー30％とし、総合的に評価する。  リアクションペーパーへの質問・感想については、次の回の授業でフィードバックを行う。 | | |
| Methods of Feedback: | | |
| リアクションペーパーへの質問・感想については、次の回の授業でフィードバックを行う。 | | |
| Diploma Policy Objectives: | | |
| Work completed in this course helps students achieve the following Diploma Policy objective(s):  3. The ability to identify and solve problems  4. Advanced communicative proficiency in both Japanese and English | | |
| Notes: | | |